

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～18℃台を示し、やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——シケと月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の56%（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり106kgの水揚げで、前週の54%。（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.5トンの水揚げで、前週の39%（前年を上回った）。
- 定置網——五島有川地区では、スルメイカなどが1日1統当たり299kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり3.6トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり80kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり73kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ブリなどが1日当たり112kgの水揚げで、前週の4.9倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/5～3/9の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚休漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡周辺～鳥取沖に出漁。

鳥取県西部（沖合船）2日延9隻、総計537箱、1航海最高119箱、平均59.7箱。

スルメイカを中心に漁獲、魚体は20～25入り主体。

今期も山口沖、隠岐海峡周辺が主漁場となったが月夜で漁獲が減少した。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2 - 6号 長崎県周辺海域の海面水温（3月号）・第2-7号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>